

第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師
ライブ配信：郭永東牧師



前奏
頌栄
主の祈り
プレイズ
聖書朗読
祈禱
賛美
メッセージ
祈禱
賛美
献金
報告
頌栄
祝禱

540

「御名を掲げて」
「その愛よりも」

ヨハネ 20：24～29
（新約聖書 p 210）

新生讃美歌 73
「復活-イエスとトマス-」

第二讃美歌 184

新生 672b

会衆
会衆
会衆
司会
司会
会衆
牧師
牧師
会衆
司会
会衆
牧師



第二礼拝次第

メッセージ：アドリアン・アルセ師

司会：エゼキエル・アルセ兄 奏楽：郭永東牧師
プレイズ：「Majesty マジェスティー」

「Glorify thy name 主の名をたたえる」

「In his time 御手の中で」

「Amazing Grace アメイジンググレイス」



ファミリー礼拝

聖書：ヨハネ 20：19～31
メッセージ：「復活の主とトマス」

＜巻頭言＞

「人質解放とテロの脅威を覚えて」①

1月19日から始まったハマスとの停戦協定の第一段階で、33人の人質がガザから解放されました。見返りとして、イスラエルは約2千人のパレスチナ囚人を開放、中には多くの凶悪なテロリストも含まれており、イスラエル国内ではテロの脅威が高まっています。今月は、エルサレムのヘブライ大学在学中の松田有先生からのレポートを届けます。

【レポート】

イスラエルの国内では、人質解放をめぐって多くのパレスチナ人テロリストが解放されたことにより、緊張が高まっています。釈放されたテロリストの中には、その後、再びテロ活動に関与した事件もあり、社会全体に油断できない空気が広がっています。過去に、人質解放と引き換えに釈放されたテロリストの中には、ヤヒヤ・シンワルもいました。10月7日のテロの首謀者です。

実際、イスラエルで暮らしていると、テロの脅威は決して遠い話ではありません。例えば、2月20日には、テルアビブ近郊で、バスの連続爆破事件が発生しました。もともと朝の忙しい時間を狙ったものですが、爆発の誤作動で、前日の夜に爆発したため、奇跡的に死傷者はいませんでした。しかし成功していれば、多くの犠牲/者が出たことでしょう。

以来、多くの市民は公共交通機関の利用に慎重になっています。バス運転手が、大一・89n きな荷物を持った乗客に声を掛ける場面も見られます。ブリッジ・フォー・ピースのボランティアたちも、安全を考慮し、一定期間バスの利用を控えました。続く・・・。

（ハイナイト祈禱課題 2025年4月号より）